

岡山は「晴れの国」である。そのことを裏付ける気象庁のデータが出ました。記事を読み、質問に答えましょう。

降水量1ミリ未満の日 全国1位キープ

岡山「晴れの国」証明

気象庁が今春、10年ぶりに改定した気象データの平年値で、岡山県は降水量1ミリ未満の年間日数が全国1位の座をキープしたことが19日、県の調査で分かった。岡山が「晴れの国」であることが改めて裏付けられたと言え、県は、新型コロナウイルス禍で注目される地方への移住・定住や企業誘致の推進に向けてアピールを強める方針だ。

平年値は過去30年間の気象データを平均した値で、気象庁が10年に1度更新している。県では3月に公表された1991〜2020年の値を基に、降水量1ミリ未満の日数について都道府県ごとに集計した。

それによると、岡山の1ミリ未満の日数は年間276.7日で、10年前の前回（1981〜2010年）より0.1日減ったものの、全国平均（247.4日）を29.3日上回り、4回連続で首位を守った。広島は4位、香川は6位で、瀬戸内地方の天候の穏やかさが示された。

岡山はまた、年間降水量の少なさを

降水量以外にも、
 天気にもまつわるいろいろなデータが
 公表されているよ。

夏休みに調べてみよう！



10年ぶり改定データ 移住、企業誘致アピール

岡山県ではこうした気象データを根拠に1989年から「晴れの国」をキヤッチフレーズに使用。県政の中期行動計画・生き活きプラン（21〜24年度）でも県が持つ優位性の一つとして明記している。

ただ近年は大雨による災害が頻発。18年7月の西日本豪雨では甚大な被害に見舞われ、県公聴広報課は「『晴れの国』とはいえ、決して油断はできない。より安心して暮らせる地域になるよう、災害対策をしっかりと進めたい」としている。（秋山昌三）

順位	都道府県名	年間日数
1	岡山	276.7
2	山梨	276.1
3	兵庫	271.7
4	広島	270.8
5	埼玉	269.3
6	香川	269.1
7	和歌山	267.8
8	徳島	267.2
9	大阪	266.8
10	大分	266.6
全国平均		247.4

7月20日付、山陽新聞1面

Q1 ★★★★★

岡山が「晴れの国」であることを証明するのは、気象庁のどのようなデータでしょうか。見出しと第1段落、表から読み取りましょう。

Q2 ★★★★★

岡山県は今回の結果を踏まえて、県外の人たちに、どんなことをアピールしようとしていますか。見出しと第1段落を参考に答えましょう。

Q3 ★★★★★

皆さんは「晴れの国」の良さはどんなところだと思いますか。周りの人と話し合ってみましょう。